



Rotary 茂原中央ロータリークラブ 会報



ロータリーの
マジック



会長 飛留間和紀



幹事 中村 健太

クラブ 創立 1993. 1. 12
 例会日 毎週火曜日/点鐘 12:30
 例会場 茂原卸団地組合会館
 事務局 TEL 0475-26-1515
 FAX 0475-26-1516
 Email mobarach.rc@gmail.com
<http://mobarachuo-rc.com>

- ★ ステファニー A.アーチック RI 会長
- ★ RID2790 寒郡 茂樹 ガバナー
- ★ 第7グループ 古西 弘和 ガバナー補佐



第 33 巻 通巻第 1413 号 第 9 号 例会通回 第 1418 回

★ クラブ会報委員長 新沢 弘樹 ★ 副委員長 仲井 琢磨

本日の例会プログラム

令和 6 年 9 月 3 日

(基本的教育と識字率向上月間 /
ロータリーの友月間)

点 鐘	飛留間和紀 会長	ソ ン グ	四つのテスト		
誕生 祝	1 名 (神明会員)				
会長挨拶	飛留間和紀 会長	幹事報告	中村 健太 幹事		
委員会報告	ニコニコ				
内部卓話	小林 充幸 会員				
出席報告	担当委員会				

8月27日例会

会員スピーチ



村田宏之会員



中村憲太郎会員

会長挨拶 杉江 敏矢 パスト会長



皆さん、こんにちは。今日は会長がお休みということで、私に会長挨拶の依頼がありましたので、させていただきます。よろしくお願いいたします。

先々週でしょうか、正林会員から神村学園の話聞きまして、その時実は僕の母校と準決勝だったんですね。見事母校の関東一高が勝ちまして、決勝進出になりましたが、惜しくも負けてしまったという。9回まで0:0で最後10回からルールが変わった方式で、ちょっと不完全燃焼な感じで高校野球も終わったのかなと思っております。

会長挨拶を特に考えずに今日も話していきたいと思います。

「読み聞かせ研修会」横堀さんお疲れ様でした。参加された会員の皆さんもお疲れ様でした。30名位の人数が集まっていたみたいです。次年度もありますので是非皆様のご協力をいただければと思っております。奉仕プロジェクトセミナーが一昨日あったよう参加された方お疲れ様でした。

飛留間会長も今は多分ベトナムに行っているかと思うんですけども、今日の席は自由になっていますが、来週は来て決めた席になると思いますので、また皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

会長挨拶は以上にさせていただきます。ありがとうございました。



幹事報告 中村 健太 幹事

- 地区 (回覧)
- ① 米山記念奨学会より、クラブ支援奨学金制度【4月採用】のご案内
- ② 2024-25 年度ロータリー財団統括委員会 財団資金管理・寄付推進委員会より、2024 年 7 月 MCR レポート
- ③ ロータリー財団統括委員会より、地区ポリオデー開催のご案内
- ④ 米山記念奨学会より、奨学生への卓話依頼のお願い
- 例会案内 (回覧)
特になし
- 会報受信 (回覧)
クラブ活動計画書：大原 RC
- その他 (回覧)
特になし

委員会報告



親睦活動委員会 生松 大典 副委員長

親睦委員会の副委員長の生松です。

9月24日は夜間移動例会となっております。お昼に親睦ゴルフをやりませんが、人数が集まっていないので是非皆さんご参加のほどよろしくお願いいたします。夜はジグザグで、美味しいお料理をご用意しておきますので、皆さんどうぞお越しください。ありがとうございます。



ロータリー情報委員会

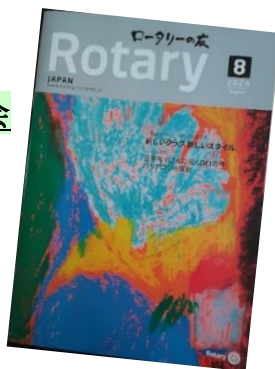
『ロータリーの友』勉強会



新沢 弘樹 委員長

皆さん、こんにちは。クラブ会報・雑誌広報・ロータリー情報委員会委員長の新沢と申します。クラブ研修リーダーも兼任しております。よろしくお願いいたします。

“ロータリー友”勉強会ということで、昨年の片岡さんから引継ぎ引き継がさせていただきました。



新しい会員の方は分からないと思いますが、月に1回“ロータリー友”雑誌が皆さんに配られます。

ロータリーの友誌にどんなことが書かれているのか。そんなところの説明を今日はやらせていただくんですが、次回以降は皆さんにやっていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

初めてなので僕もヤフーで、いつこれが始まったのかというのを調べてきました。

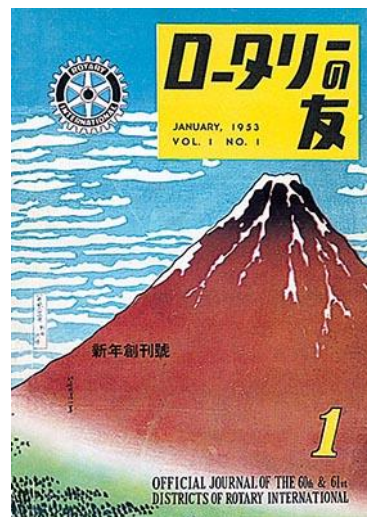
『友』のあゆみ

新しい雑誌の発行が決定

1952 (昭和 27) 年 4 月、第 60 地区の大会が開催されました。同年 7 月に迎える新年度 (1952-53 年度) から、日本の地区は東日本と西日本の 2 地区に分割されることに決定されていまして、主催者も参加者も共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。

この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その一つに日本の 2 地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されたのです。

第 1 回の準備会は大阪で、当時の星野行則ガバナーと露口四郎氏 (共に大阪ロータリークラブ) が幹事となって、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表者が出席して開催されました。



1953 年 1 月号
創刊号

『ロータリーの友』と命名

新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、1952 年 8 月 16 日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953 (昭和 28) 年 1 月から、毎月発行すること、価格を 50 円とするが、広告を取って 100 円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすること

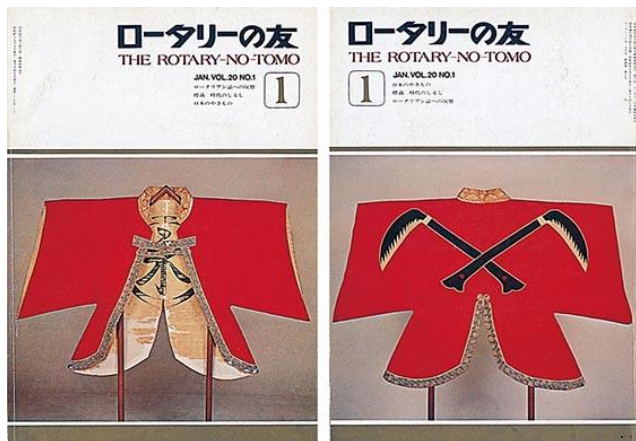
となどが決定されました。また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2対1の割合で、横書きが採用されることになりました。戦後 10 年もたっていないという時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンがいかにか先進的な考え方をもっていたかを知ることのできるエピソードです。

岐阜での会合で、広告を取ることが決定したものの、当初は発行部数が 3,300 部にすぎなかったこと、また、戦後の混乱が少し落ち着いたというものの、まだまだ経済的には厳しかったこともあり、広告のスポンサーを見つけることは容易なことではありませんでしたが、創刊に携わったロータリアン自らが走り回り、苦勞して広告をとったという逸話が残っています。

創刊号は富士山の表紙です。この表紙、1月号から6月号まで、北斎の「凱風快晴」という題の作品が使われました。表紙の写真や絵が毎月替わるようになったのは、創刊翌年の4月からです。毎月同じ絵柄の表紙とはいうものの、それぞれの色が随分違っているのは、デザインでしょうか、当時、カラー印刷の技術が進んでいなかったためでしょうか。

表紙が 2 つに

最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。1972（昭和47）年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。左に開けると横書き、右に開くと縦書きという形の雑誌になりました。両面が表紙になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。



1972 年 1 月号

(縦組みと横組みが分かれた最初の号)

国際ロータリー公式地域雑誌に

1977 年、標準ロータリークラブ定款第 10 条（現 14 条）の改正に伴い、公式地域雑誌（現ロータリー地域雑誌）の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは国際ロータリー（R I）の機関誌『The Rotarian』だけでなく、R I が指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。

『ロータリーの友』は、1979 年 7 月号から 1 年間の試験期間を経て、1980 年 7 月号から R I 公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件はいろいろと定められており、また、時代とともに多少変化をしています。

カラフルに、ビジュアルに

2003 年 1 月に創刊 50 周年を迎えるに当たり、これまでの良い伝統は継続しながら新しい 50 年のスタートにふさわしい新鮮な『ロータリーの友』にするにはどのようにすればいいのか、2001 年から秋から検討に入り、2002 年 7 月号から紙面を一新しました。

サイズを B 5 判（天地 256 ミリ×左右 182 ミリ）から A 4 変形型（天地 280 ミリ×左右 210 ミリ）に変更。カラー写真のページを巻頭にもってくるなどして、親しみやすい『ロータリーの友』を目指しました。この時、用紙もカラー写真がきれいにできるように、それまでより白い紙に替えました。（2006 年 7 月号からは、さらに白い紙に変更）

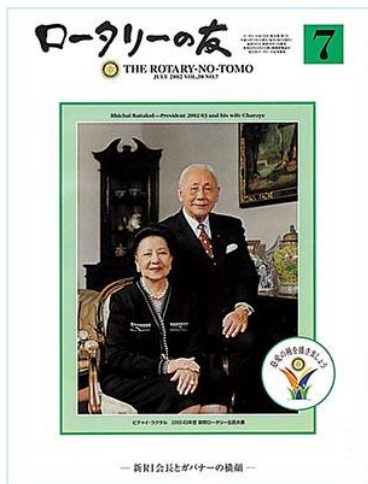
このサイズの変更と合わせて、事務所内でのコンピューター編集に切り替えました。このことによって、それまでより自由な紙面づくりができるようになり、またコスト削減も実現しました。

さらに 2016 年 7 月号からは、サイズを A 4 判（天地 297 ミリ×左右 210 ミリ）に変更しました。

「ロータリー地域雑誌」の要件の一つに『The Rotarian』から指定された記事を掲載しなければならないという項目があります。写真を郵送していた頃には同時掲載は不可能でしたが、IT 技術の進歩に伴い、2004 年 1 月号からは、これらの指定記事が『The Rotarian』と同じ月に掲載できるようになりました。

記事についても、毎年度見直し、新しいコーナーを設ける一方で、古いコーナーを中止したりしています。2004 年 11 月号からは、毎月一人ずつのロータリアンを紹介する「風紋」がスタートしました。外部の記者とカメラマンによる取材記事は、それまでになかったことで、ロータリアンやロータリーを客観

的に見た記事によって、あらためてロータリーの良さを知る機会にもなっています。その後、クラブを紹介する「手に手 クラブ探訪」、ロータリアンを職業の面から紹介する「この人 この仕事」、「わがまち……そしてロータリー」、「クラブを訪ねて」と、少しずつ形を変えながら、このシリーズは続いています。また、パズル（「パズル de ロータリー」）や本の紹介（「私の一冊」）のコーナーを設け、より親しんでもらえるよう工夫をしています。



2002 年 7 月号

インターネットとの共存

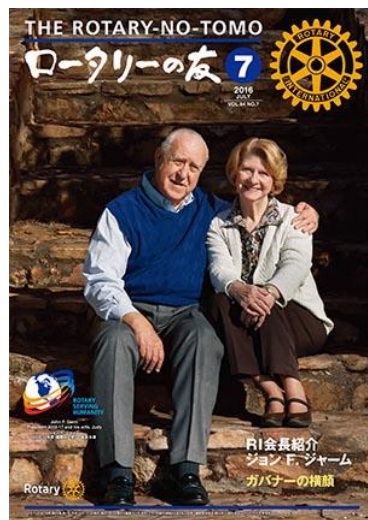
50 周年を迎えるために『ロータリーの友』をリニューアルしようと企画を立てていたときに出てきたのが、新しいメディアのインターネットとどのように共存、住み分けをするかということでした。そこで、『ロータリーの友』のホームページを開設して、インターネットというメディアにふさわしいコンテンツを入れ、印刷媒体の『ロータリーの友』との共存、住み分けを図り、日本のロータリアンの皆さまにより早く、より幅広く、より便利に情報を届けようということが決まりました。

この決定に従って、2003 年 7 月 1 日、『ロータリーの友』ホームページを開設しました。ここでは全国のロータリークラブの例会一覧表、国際大会や国際協議会の速報、さらには、ロータリーの基礎知識的な資料を提供してきました。2006 年秋、ガバナー会から rotary.or.jp のドメインが移譲され、ロータリーの友委員会で検討を重ねた結果、名称を『Rotary Japan』に変更、内容や画面をリニューアルして、2007 年から新しい名前での情報提供をしています。

2010 年 4 月に開催された規定審議会の採択によって、アメリカとカナダのロータリアンは、これまでの印刷版だけではなく、電子版で『The Rotarian』を受け取ることができる

ようになりました。2013 年 4 月に掲載された規定審議会では、ロータリー地域雑誌も電子版で受け取ることができるようになりました。この決定にともない、『ロータリーの友』も 2014 年 1 月号から電子版を発行しています。最新号は毎月 1 日に更新されます。

『ロータリーの友』の記事を、より深く、より広く、理解し活用いただくため、ホームページを『ロータリーの友』の補完に集中することになり、2016 年 7 月 1 日から『ロータリーの友』ホームページ (www.rotary-notomo.jp) に戻しました。



2016 年 7 月号



出席報告

例会日	会員	出席	MU	欠席	免除	出席率%
8/27	29	21	2	6	0	79.32
8/11	29	12	3	12	2	55.56

9 月はロータリーの友月間です

国際ロータリー (R I) 理事会が 2015-16 年度から特別月間を大きく変更したことに伴い、従来 4 月に設定されていた雑誌月間はなくなりました。そこでロータリーの友委員会・理事会の決定で、9 月を「ロータリーの友月間」として新設しました。日本独自の特別月間として、『友』を推進し、『友』の利用法について話し合います